

## ▶ 株式会社のご案内 (株主メモ)

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当金交付 株主確定日	3月31日 ※なお、中間配当を実施するときの株主確定日は9月30日
単元株式数	1,000株
定時株主総会	6月下旬
定時株主総会における 権利行使株主確定日	3月31日
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲 1-2-1 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲 1-2-1 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉 2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
お取扱店		<ul style="list-style-type: none"> <li>みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店</li> <li>みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店</li> </ul>
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行本店および全国各支店、みずほ銀行本店および全国各支店 (みずほインベスターズ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。
公告方法	電子公告の方法により行う <a href="http://www.kinugawa-rubber.co.jp">http://www.kinugawa-rubber.co.jp</a>	

## Kinugawa Rubber Industrial Co., Ltd.

〒263-0005 千葉県稲毛区長沼町330番地 TEL: 043-259-3111 (代表) FAX: 043-259-3380

URL : <http://www.kinugawa-rubber.co.jp/>

スピード・変革・チャレンジ

## 第73期 株主通信

2011年4月1日～  
2012年3月31日



### ストラットマウント

道路の凹凸により発生する振動・音を吸収(減衰)し、車両への伝導を遮断します。

私たちのいまをお届けします

# 知れば知るほど

**鬼怒川ゴムの事業は？**

ゴム・樹脂部品の専門メーカー。国内外の自動車・建機・部品メーカーに製品を提供しています。

**業界での位置づけは？**

リーディングカンパニーとして、品質に万全の信頼性が求められている高精度・高精密・高耐久性部品において、お客様から絶対の信頼をいただいております、高いシェアを誇ります。

## 製品紹介



エンジンマウント ブッシュ



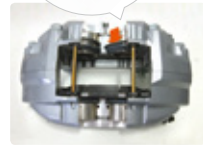
ホース



バンパー



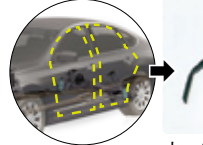
ペダル



ブレーキカップ



グラスラン



ウェルトボディサイド

## 非自動車部品

### [建設機械用部品]



建機キャブマウント

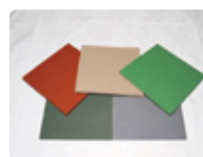


建機トルクロッド



建機ホース

### [建築資材]



リサイクル弾性床材「ライル」



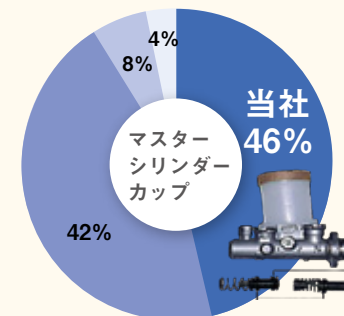
駐車場用車止め「止輪くん」

## 鬼怒川ゴムの強み・特長は？

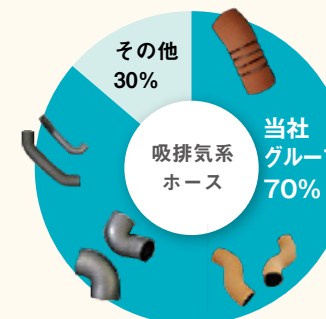
### 1 圧倒的なシェア (国内)

自動車部品…**46%**  
(マスターシリンダーカップ)

建機用部品…**70%**  
(吸排気系ホース)



ブレーキ部品のシェア



建機用部品のシェア

※当社集計値

### 2 世界の自動車市場は拡大の見通し

グローバル自動車需要は新興国を中心に今後も安定的に成長が見込まれます。

2015年に見込まれる需要は…**8,400**万台/年

2011年度対比で…約**20%** UP

※当社推定値

### 3 中期経営計画「Kinugawa Challenge 2015」がスタート

2011年度から中期経営計画「Kinugawa Challenge 2015」をスタートし、「着実かつ持続的に成長するためにモノ造りと組織能力をグローバルに再強化する」を目標に取り組んでいきます。

#### 3つの構造改革プラス1

- ① 短期収益を上げる～モノ造りの継続した改革
- ② 売上を拡大「持続的な成長」～持続的な成長
- ③ 業務改革による収益体質の強化～業務改革
- ➡ ④ グローバルに展開

## 株主のみなさまへ



代表取締役社長執行役員  
関山定男

株主のみなさまにおかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。また、震災復興の途上におられるみなさまには心よりお見舞い申し上げます。さて、第73期株主通信をお届けいたします。

2012年3月期当社グループ連結業績は、3期連続増収増益、営業利益・経常利益は3期連続過去最高益を更新いたしました。昨年度は、東日本大震災の影響による大減産でスタートしその後の急な大增産への対応、また秋にはタイの大洪水発生と、当社グループを取り巻く環境は大変厳しいものでありましたが、当初計画を上回る業績を確保できましたことをご報告いたします。

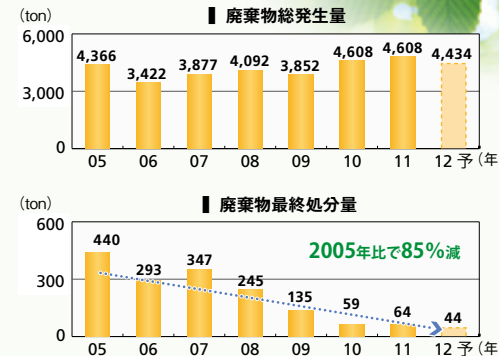
また、当社として初めて中期経営計画「Kinugawa Challenge 2015」を策定・発表いたしました。これは、世界的に伸長を続ける自動車産業において、今後ますます激化するグローバル競争の中で生き抜き、さらに成長し続けるために2015年までの経営施策を示したものです。今後はこの中期経営計画を達成させ、自動車産業の発展にお役に立てるようグループ一丸となって取組んでいく所存です。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### 環境への取組み

2011年度の主な活動の一つとして「環境への取組み」を掲げ、廃棄物の削減、リサイクル率の向上、最終処分量の削減に取り組んでまいりました。

- 2011年度廃棄物総発生量は、東日本大震災の影響による真岡事業所の被災ガレキを廃棄物として処理した分が含まれていること、年度後半の生産量の回復により増加となりました。尚一層、工程不良削減や材料歩留まり向上の活動を推進してまいります。
  - 廃棄物の最終処分量は従来の活動に加え、サーマルリサイクルや固形化燃料等の再資源化への活用が寄与し、大幅に減らすことが出来ました。2012年度はさらに再資源化への展開を拡大してまいります。
- 引き続き、再利用可能な樹脂材料への転換を拡大すると共に、分別の徹底を行い、廃棄物低減と再利用活動を推進してまいります。

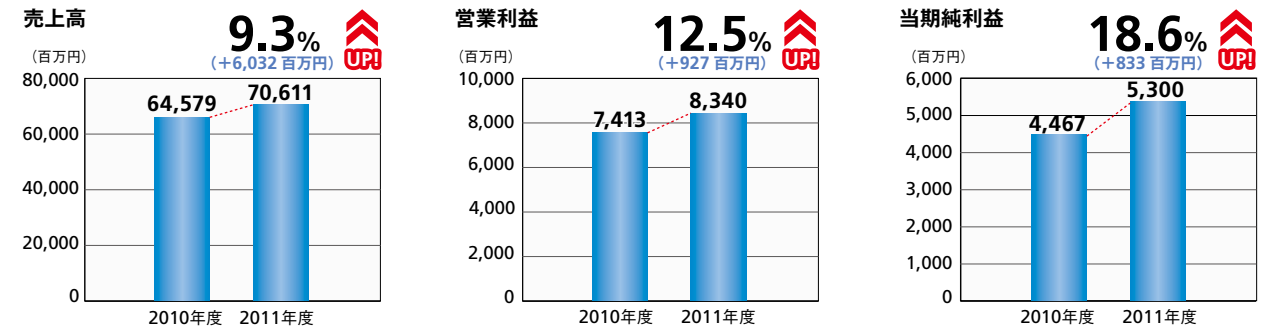


### 業績の概要

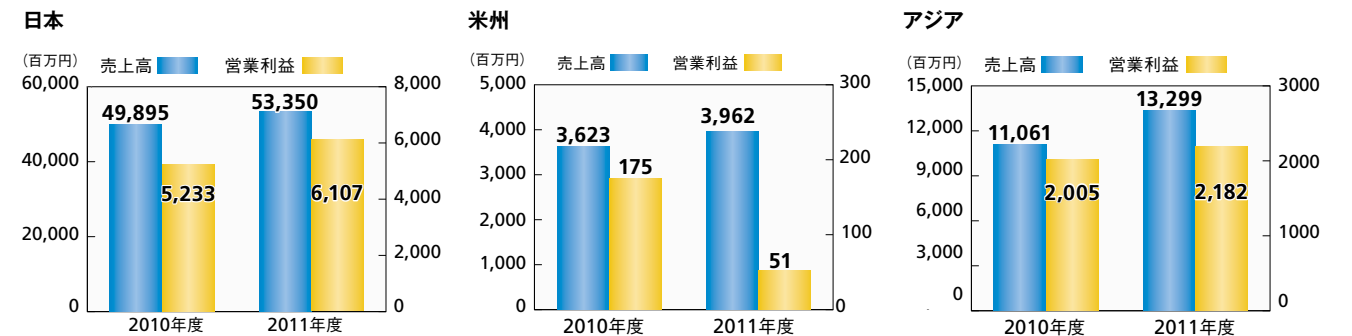
当連結会計年度における当社グループの主要得意先の自動車生産は、国内は第1四半期に震災影響で減少したものの第2四半期以降に持ち直し、前年同期比で約1割増となりました。また海外は新興国を中心とした販売の増加により、約1割強の増加となりました。この結果、売上

高は706億1千1百万円となり、収益面においては震災直後の減産対応、モノ造り改善活動のグローバル展開、調達コストの改善活動等により営業利益、経常利益、当期純利益ともに過去最高益を更新いたしました。

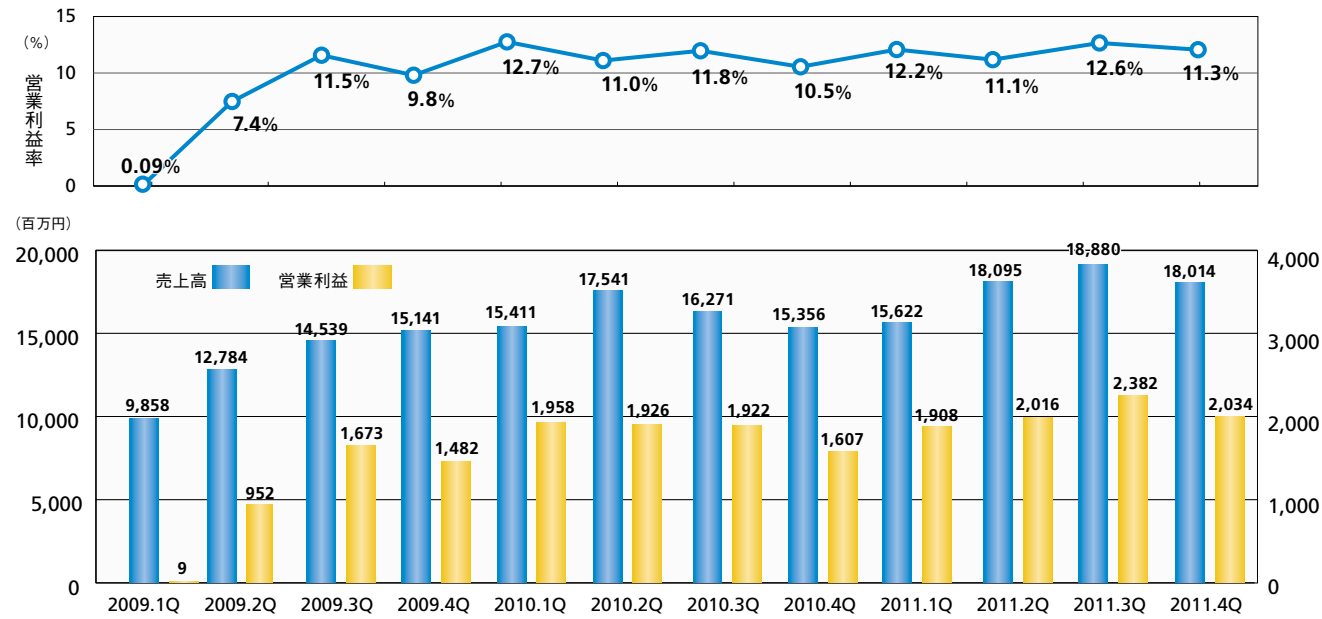
#### 【損益計算書】



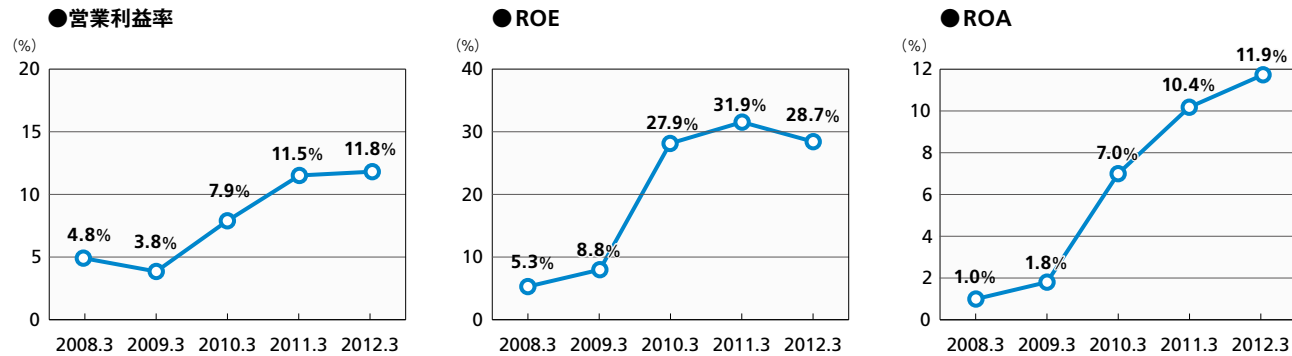
### 所在地別状況



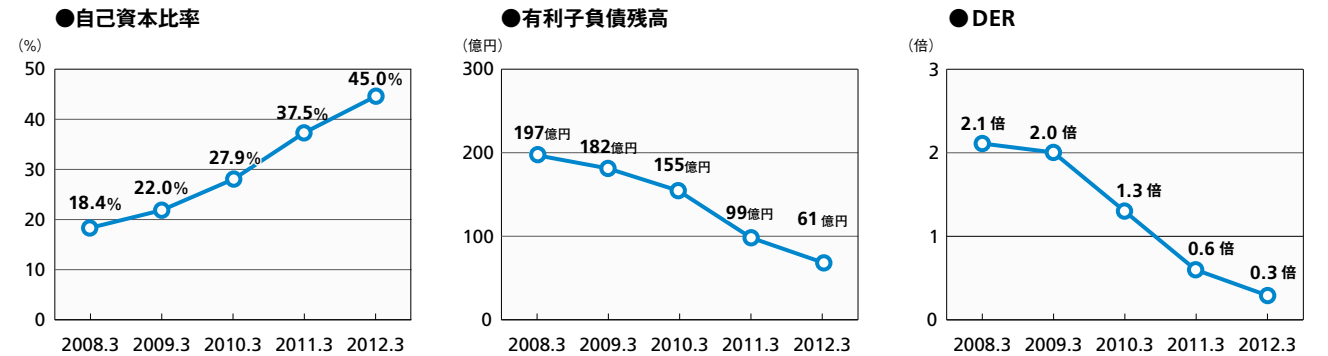
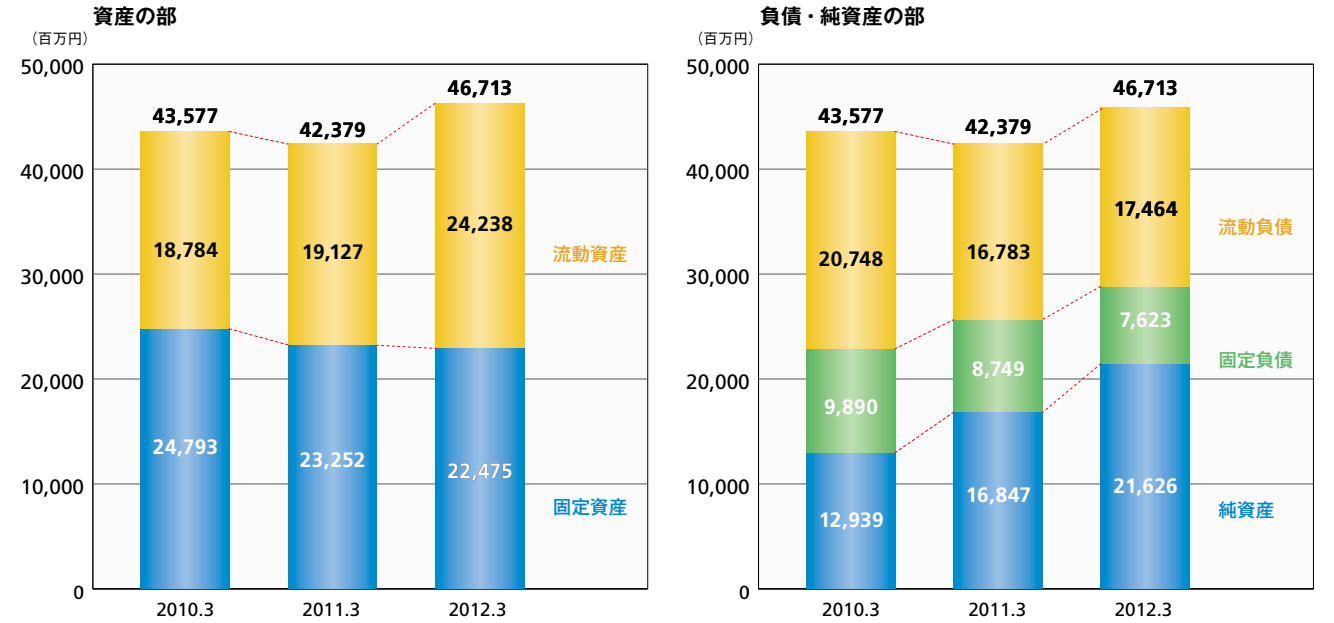
## ▶ 四半期業績の推移



## ▶ 主要経営指標の推移



## ▶ 貸借対照表



注) 2012年3月期連結会計年表より、存外子会社等の収益及び費用は期中平均相場により円貨に換算する方法に会計方針を変更しております。  
(これにより本書における過年度の数値も期中平均相場を適用)

## トピックス

### 中期経営計画発表

2011年11月 中期経営計画【Kinugawa Challenge 2015】を策定し、発表いたしました。これは、世界的に伸長を続ける自動車産業において、今後ますます激化するグローバル競争の中で生き抜き、さらに成長し続けるために2015年までの経営施策を示したものです。



### IR活動～投資家様向け決算説明会開催

2011年11月 機関投資家様ならびに個人投資家様向け上半期決算説明会&会社説明会を開催いたしました。当日は、前回に比べ多くの参加をいただき、盛況の中開催することができました。本年度もそれぞれの説明会の開催を計画しております。



### "KINUGAWA INDONESIA", PT. (インドネシア) 設立

2012年3月 インドネシア カワサン州コタ・ブキット・インダー地区(ジャカルタから75km)に新拠点を設立しました。資本金125万US\$ (1億円)、主に現地の日系カーメーカーに対してシール部品を供給する計画です。



### タイの大洪水

2011年10月に発生したタイの大洪水は、現地ならびに日系企業に大きな被害をもたらしました。弊社拠点も主要顧客先の影響により操業停止を余儀なく迫られ、収益へのインパクトも最終利益ベースで50百万円超被りました。しかしながら、幸いにも弊社工場内への浸水は免れ、工場棟や機械設備への被害も無く、復旧もスムーズに果たすことができました。



## 海外拠点



## 国内拠点

### 生産委託会社

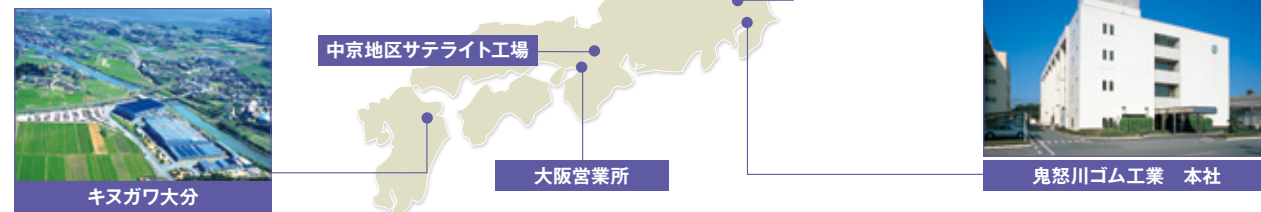
キヌガワ郡山  
キヌガワ防振部品  
キヌガワ大分  
キヌガワブレーキ部品

### 業務提携

東洋ゴム工業  
ハッチンソン(フランス)

### 国内関係会社

佐藤ゴム化学工業(千葉県成田市)  
ナリタ合成(千葉県成田市)  
帝都ゴム(埼玉県入間市)  
ケイジー物流(千葉県千葉市)  
キヌテック(千葉県千葉市)  
エスイーシー化成(山口県周南市)  
八洲ゴム工業(埼玉県越谷市)  
根本精機(千葉県千葉市)



## ▶ 会社概要

2012年3月31日現在

名称	鬼怒川ゴム工業株式会社 Kinugawa Rubber Industrial Co., Ltd.
証券コード	5196
本社所在地	千葉県千葉市稲毛区長沼町 330 番地 TEL: 043-259-3111
設立年月日	1939年10月1日
資本金	5,654百万円
主要な事業内容	自動車用ゴム及び合成樹脂製品の製造・販売
従業員数(連結)	3,513名
営業所	大阪営業所 大阪府吹田市南金田 2-3-26 ファーイースト 21 803 号 TEL: 06-6155-4599

## ▶ 役員体制

役職名	氏名
代表取締役社長執行役員	せきやま きだ お 関山 定男
取締役常務執行役員	よだ のり お 依田 憲雄
取締役常務執行役員	こくすり じろう 小薬 次郎
取締役常務執行役員	いまばやし いきお 今林 功
監査役	すえまつ けん 末松 謙
監査役(非常勤)	おおき あきら 大木 宣
監査役(非常勤)	いまい のぶゆき 今井 信行
監査役(非常勤)	よしの ひろあき 吉野 博昭

## ▶ 株式の状況 2012年3月31日現在

発行可能株式総数 160,000,000株  
発行済株式総数 67,299,522株 (自己株式63,268株)  
株主数 5,566名

### 大株主

No	株主名	所有株数	比率
1	みずほ信託銀行株式会社(退職給付信託日産自動車口)	13,626,665	20.27
2	東洋ゴム工業株式会社	8,000,000	11.90
3	GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	5,640,000	8.39
4	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,431,000	5.10
5	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,770,000	4.12
6	日本生命保険相互会社	1,793,400	2.67
7	日本証券金融株式会社	1,456,000	2.17
8	株式会社みずほコーポレート銀行	1,336,964	1.99
9	株式会社損害保険ジャパン	873,680	1.30
10	株式会社りそな銀行	815,000	1.21

(注) 比率は自己株式63,268株を控除して計算しております。

## 社名の由来 ~ なぜ鬼怒川? ~

当社の沿革は、昭和8年に創業者杉田信が東京・神田橋本町に設立した自動車、家具用スポンジゴムなどの専門卸問屋、合資会社近信商會に始まります。

昭和10年には日産自動車との取引が開始され、その後は自動車の生産台数の増大に伴い注文が殺到し、近信商會は問屋から製造業に転換するため工場用地を探すようになりました。

そのころ、東京・江戸川区の合資会社鬼怒川護謨工業所が売りに出され、この会社を買収し、

昭和14年に鬼怒川護謨工業株式会社として発足したのです。

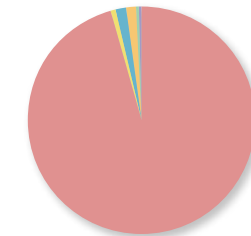
当時の鬼怒川護謨工業所の経営者は釣りが趣味で、ある年の秋、栃木・鬼怒川にヤマメ釣りに行ったところ、思いがけない大量の釣果に縁起のよさを感じ、会社をつくるとき、鬼怒川と名付けたとのこと。



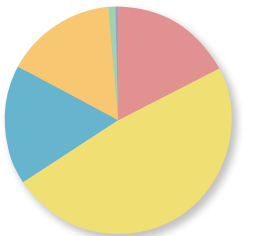
### 所有者別分布状況・所有株数別分布状況

所有者区分	株主数比率 (%)	株式数比率 (%)
個人・その他	94.95	17.73
金融機関	0.70	48.00
その他国内法人	1.85	16.12
外国人	1.78	16.64
証券会社	0.70	1.42
自己名義株式	0.02	0.09

株主数比率 (%)



株式数比率 (%)



	2008.3	2009.3	2010.3	2011.3	2012.3	2013.3(予)
当期純利益(百万円)	486	796	2,977	4,467	5,300	5,400
1株当り当期純利益(円)	7.25	11.86	44.35	66.56	78.83	80.31
1株当り配当金(円)	3	3	4	5	6	8*

\*中間配当を実施予定